

1. 適用対象事業所の概要

当社は、国内の4つの事業所および蘇州惠普聯電子有限公司を環境管理の管理組織と位置付け、管理組織ごとに事業活動や製品・サービス領域における環境マネジメントシステムの確立、運用管理、監視、改善活動に取り組み、継続的に環境パフォーマンスの向上に努めています。

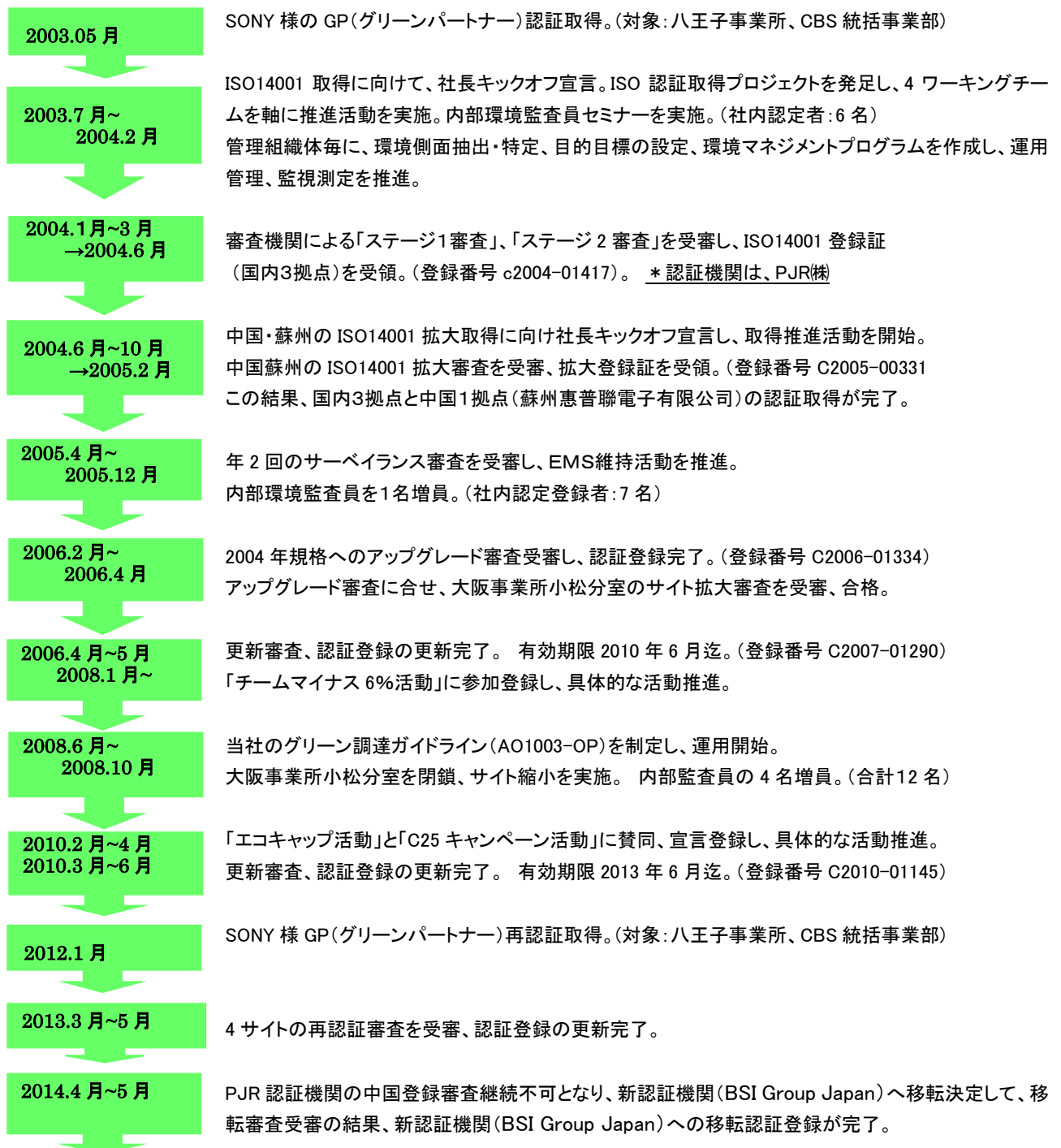
また、当該年度には外部審査機関である BSI Group Japan による ISO14001 のサーベイランス審査が実施されました。この審査は年に1回行われ、規定に基づいて実施されます。審査の結果、当社は「法規制・その他要求事項チェックシート」などで問題がないことが確認され、ISO14001 の認証が継続されています。

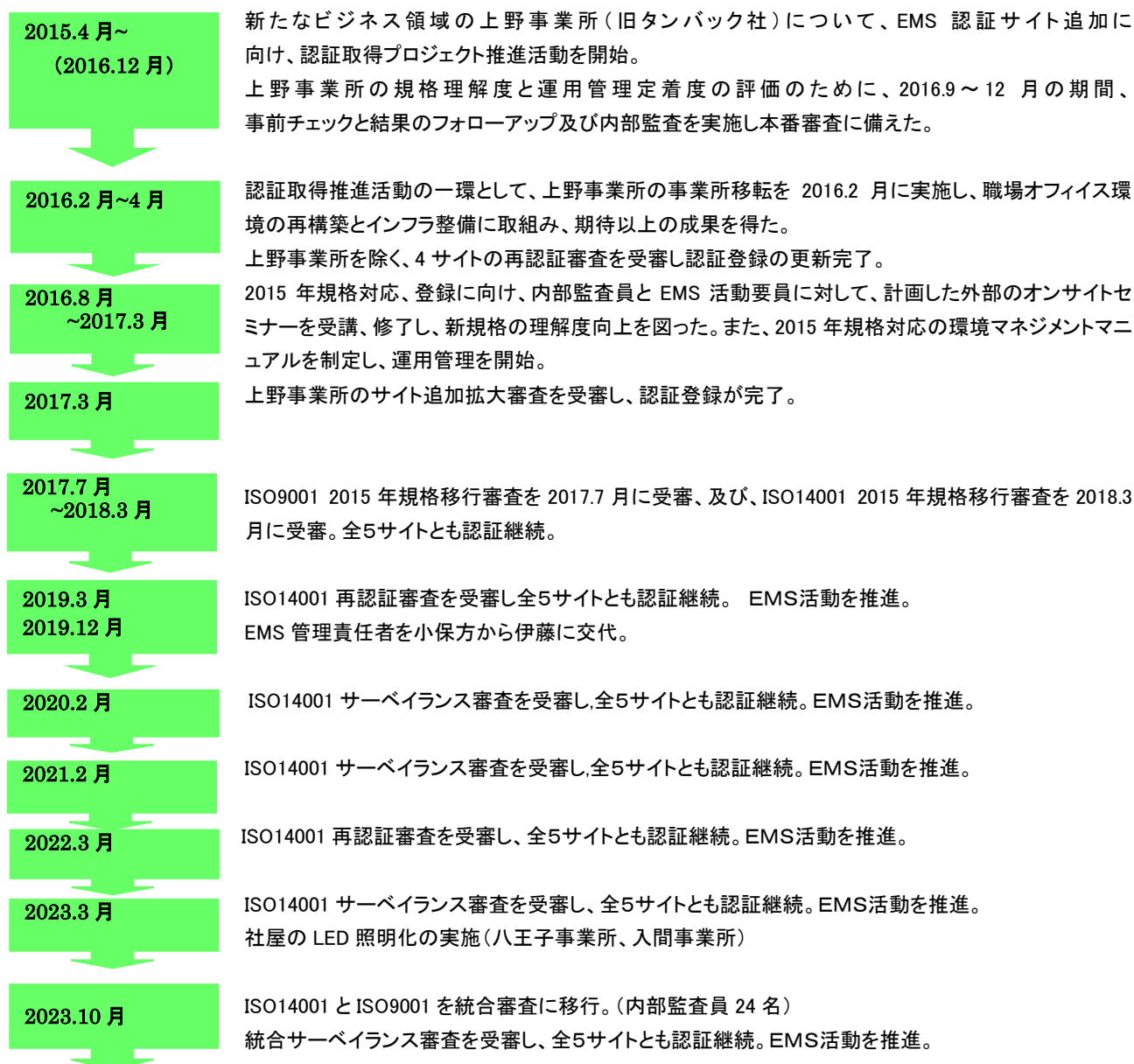
[適用事業所]

- a. 本社・八王子事業所(HHdiv) b. 入間事業所(IPlant) c. 大阪事業所(Odiv) d. 上野事業所(SSdiv)
- e. 蘇州惠普聯電子有限公司[中国江蘇省](SZE):

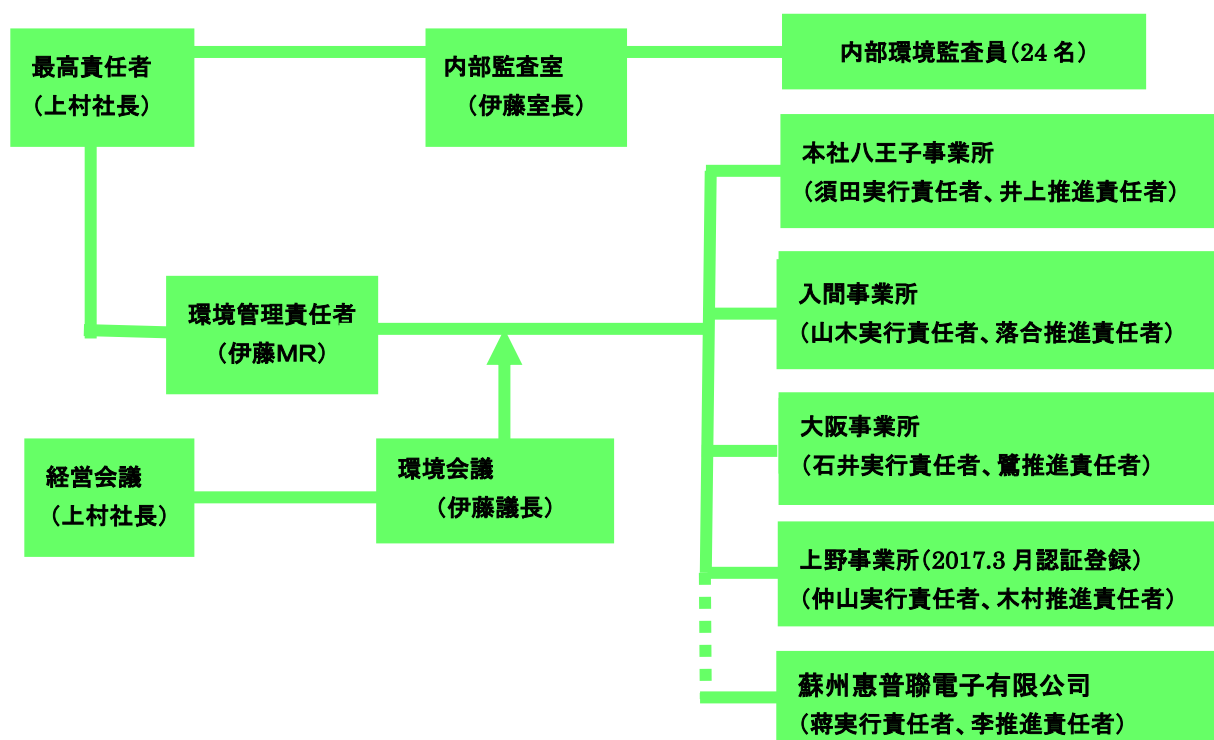
2. 環境保全への取組み

1) 環境活動(ISO への取り組み含む)の歩み





2) 環境管理組織(2023年度)



3) 環境方針(2023 年度)

環境方針

環境理念

私達は、地球環境保全が 21 世紀における人類の最も重要な課題の一つであることを認識し、地球環境保全と将来の世代の夢が守られる持続可能な社会の義務にむけ、積極的に貢献を行っていきます。

環境方針

1. 産業用コンピュータシステムに関する事業活動を通じ、省資源、省エネルギー、廃棄物の減量、有機溶剤消費の削減等を行い、環境負荷の軽減に努めます。
2. 環境配慮設計及びグリーン調達に取り組み、有害物質の使用を避け、RoHS 適合製品の提供を推進(鉛フリー等)し、有益な環境側面の創出に努めます。
3. 継続的な環境改善と汚染の予防に努めます。
4. 法規制、顧客要求・その他要求事項を順守し、環境保護へのコミットメントを推進します。
5. 環境目的、目標を設定、運用管理、監視・測定し、必要に応じて見直しを実施します。環境パフォーマンス向上のため、定期的なレビューを行い、環境マネジメントシステムの継続的改善活動を推進します。
6. この方針は文書化し、実行維持し、全従業員と当社のために働く人に周知徹底します。また、社外からの人々の要求に対して開示します。

制定 2023 年 04 月 01 日

エブレン株式会社

代表取締役社長 上村 正人

4) 方針、目的目標及び活動実績の概要

2023 年度の ISO14001 (EMS) 活動では、2015 年版規格に対する適合性の確保と運用の定着に注力し、環境パフォーマンスの向上に取り組みました。特に、「組織の状況、リーダーシップ、リスクおよび機会への対応」という 2015 年版要求事項に意識的に取り組み、その定着を継続しています。

推進のポイントは、従来同様に法規制およびその他の要求事項への順守活動、環境に配慮した製品の提供や有害物質の削減・排除による RoHS 指令への適合、そして快適な職場環境の改善、環境負荷の軽減・減量・維持管理活動です。

当社も、今年度も環境省の「COOL CHOICE」活動に参加し、引き続き「スーパークールビズ活動」と「ウォームビズ活動」を推進し、電力使用量と CO2 排出量の削減に努めました。また、本期においても電気料金の抑制に取り組み、2007 年比の成果を得ることができました。

さらに、八王子事業所と入間事業所では、全照明を LED 照明に交換することで大幅な電力削減を実現しました。八王子事業所では、月平均 4,100kWh、入間事業所では、月平均 900kWh の電力削減を達成しました。また、入間事業所では、2023 年度に旧型のエアコンを新型に更新することで、月平均 370kWh の電力削減を達成しました。工場稼働率の上昇に伴い売上高も増加傾向にありますが、前年度比で国内事業所の年間電力消費は減少(-6.8%)しています。ただし、電力単価が急増(16.38→22.68(円/kWh)=+38%)したにも関わらず、本期は燃料調整費、再生エネルギー賦課金が減少したことにより、前年度比で国内事業所の年間電気料金は減少(-18.1%、激変緩和措置を含む)しています。電力使用量は季節変動によるエアコンの使用率に大きく影響されますが、節電活動を継続します。

本期も滞留資産の分析を行い、削減に取り組みました。また、産業廃棄物の削減(3R: Reduce、Reuse、Recycle)を継続的に行い、一部は有価物として売却し、良好な成果を得ました。引き続き、重要な環境側面およびリスクを踏まえた環境管理に取り組み、且つ、環境保全活動の推進に努めます。

5) 2023 年度の実績評価

① 改善推進テーマ

推進テーマ	管理組織体	目標値	実績値	達成率	判定
有益な工場環境の実現 (モデル工場)	HHdiv	6.0 件の改善実行[5S 維持管理]	11 件改善完了	183%	○
	HHdiv	3.0 件の改善実行[安全環境配慮製造ライン]	7 件改善完了	233%	○
	HHdiv	24.0 件の改善実行[変種変量製造ライン]	77 件改善完了	321%	○
	IPlant	6.0 件の改善実行[機能的安全快適な工場環境実現]	8 件改善完了	133%	○
	Odiv	24 件の改善実行[社内資産活用し効率的な作業環境実現]	25 件改善完了	104%	○
	Odiv	12 件の改善実行[3T 実施と継続]	14 件改善完了	117%	○
	Odiv	12 件の改善実行[5S 実施と継続]	13 件改善完了	108%	○
	SZE	部品 7 件以上環境負荷物質の含有物調査]	7 件完了	100%	○
不良資産の発生抑制	SSdiv	6 件の改善実行[資材調達方式改善]	7 件改善完了	117%	○
仕損じ撲滅活動	HHdiv	1,260,000 円以下	989,470 円	79%	○
	IPlant	480,000 円以下	145,727 円	30%	○
	Odiv	660,000 円以下	406,107 円	62%	○
	SSdiv	336,000 円以下	233,679 円	70%	○
	SZE	24,000 円以下	20,374 円	85%	○

② 継続監視テーマ

推進テーマ	管理組織体	監視基準値(125%)	前年実績値	実績値	前年対比率	判定
資源枯渇抑制 (電力使用量)	HHdiv	182,120kWh 以下	145,696kWh	138,857kWh	95.3%	○
	IPlant	85,353kWh 以下	68,282kWh	57,167kWh	83.7%	○
	Odiv	143,974kWh 以下	115,179kWh	110,432kWh	95.9%	○
	SSdiv	46,166kWh 以下	36,933kWh	34,624kWh	93.7%	○
	SZE	14,668kWh 以下	11,734kWh	9,946kWh	84.8%	○
資源枯渇抑制 (最大需要電力)	HHdiv	98 kW	98 kW	92 kW	93.9%	○
	IPlant	48 kW	48 kW	48 kW	100.0%	○
	Odiv	102 kW	102 kW	92 kW	90.2%	○
	SSdiv	100 kW	100 kW	91 kW	91.0%	○
24ヶ月以上滞留資産 (滞留在庫)	HHdiv	3,173,639 円	9,386,152 円	6,212,513 円	295.8%	△
	IPlant	3,828,991 円	7,127,164 円	3,298,173 円	186.1%	△
	Odiv	7,407,808 円	4,003,658 円	-3,404,150 円	54.0%	△
	SSdiv	4,081,492 円	5,413,760 円	1,332,268 円	132.6%	△
	SZE	1,161,124 円	4,177,878 円	3,016,754 円	359.8%	△
非 RoHS 対応製品の供給 (鉛フリー化推進)	Hdiv + IPlant	9.12 kg 以下	7.29 kg	7.04 kg	96.6%	○
	Odiv	2.50 kg 以下	2.00 kg	1.00 kg	50.0%	○
資源枯渇抑制 (ガソリン)	HHdiv	15.5 km/l	19.4 km/l	18.3 km/l	94.3%	△
	IPlant	6.9 km/l	8.6 km/l	8.3 km/l	96.1%	△
	Odiv	13.4 km/l	16.8 km/l	17.8 km/l	105.8%	○
	Odiv 貨物	7.6 km/l	9.5 km/l	10.4 km/l	110.0%	○
資源枯渇抑制 (用紙)	HHdiv	290,625 枚以下	232,500 枚	207,500 枚	89.2%	○
	Odiv	125,000 枚以下	100,000 枚	115,875 枚	115.9%	△
	SSdiv	9,375 枚以下	7,500 枚	12,000 枚	160.0%	×
	SZE	30,625 枚以下	24,500 枚	22,500 枚	91.8%	○
	HHdiv	416 m ³ 以下	333 m ³	356 m ³	106.9%	△

資源枯渇抑制 (水道)	IPlant	151 m ³ 以下	121 m ³	125 m ³	103.3%	△
	Odiv	350 m ³ 以下	280 m ³	270 m ³	96.4%	○
	SSdiv	152 m ³ 以下	122 m ³	121 m ³	99.6%	○
	SZE	215 m ³ 以下	172 m ³	162 m ³	93.8%	○
資源枯渇抑制 (廃棄物、有価物)	HHdiv(一般)	563 kg 以下	450 kg	360 kg	80.0%	○
	IPlant(一般)	288 kg 以下	230 kg	210 kg	91.3%	○
	Odiv(一般)	513 kg 以下	410 kg	370 kg	90.2%	○
	SSdiv(一般)	165 kg 以下	132 kg	157 kg	119.0%	△
	HHdiv(産業)	7,000 kg 以下	5,600 kg	3,555 kg	63.5%	○
	IPlant(産業)	2,413 kg 以下	1,930 kg	1,025 kg	53.1%	○
	Odiv(産業)	10,250 kg 以下	8,200 kg	3,840 kg	47%	○
	SSdiv(産業)	0 kg 以下	0 kg	0 kg	-	○
	Odiv(ダンボール)	5,113 kg 以下	4,090 kg	4,290 kg	104.9%	△
	SZE(産廃)	19 kg 以下	16 kg	11 kg	73%	○
	HHdiv(産廃¥)	831,688 円	665,350 円	603,650 円	90.7%	○
	IPlant(産廃¥)	202,938 円	162,350 円	129,175 円	79.6%	○
	Odiv(産廃¥)	525,319 円	420,255 円	348,200 円	82.9%	○
	SSdiv(産廃¥)	0 円	0 円	0 円	-	○
	SZE(産廃¥)	200,000 円	160,000 円	160,000 円	100.0%	○
	HHdiv(有価)	-	51,888 円	53,356 円	102.8%	△
	IPlant(有価)	-	20,600 円	300,125 円	1456.9%	△
Odiv(有価)	-	10,005 円	13,780 円	137.7%	△	
SSdiv(有価)	-	0 円	0 円	-	○	
SZE(有価)	-	29,358 円	15,700 円	53.5%	△	

【注1】基準値判定: ○ ~100% △ ~124% × 125%~

【注2】燃費:基準値判定: ○ 100%~ △ 81%~ × ~80%

③電力使用量とCO₂削減成果(スーパークールビズ活動/ウォームビズ活動:2007年比)

部門	HHdiv	IPlant	Odiv	SSdiv	国内計	SZE	全社計
削減電力量(kWh)	108,968	84,107	53,286	17,337	263,698	13224	250,474
削減経費(円) *1	3,422,139	2,420,191	1,533,313	498,875	7,383,788	365,657	7,874,518
削減CO ₂ (Kg) *2	48,055	37,091	23,499	7,646	116,291	5,832	122,123

*1:平均電気料金は、28.78 円/kWh

*2:CO₂排出係数は、0.441kg-CO₂/kWh

④前年(2022年度)比、電気使用量の削減成果=各事業部共に生産量増加に伴う電力量の増加傾向にある。

ただし、今年度は八王子事業所と入間事業所の照明をすべてLED照明に切り替えることで、電力の節約に取り組んでいます。八王子事業所では月平均4,100kWh、入間事業所では月平均900kWhの電力削減を達成しています。

部門	HHdiv	IPlant	Odiv	SSdiv	SZE	全社計
2022年度電気使用量(kWh)	145,696	68,282	115,179	36,933	11,734	377,824
2023年度電気使用量(kWh)	138,857	57,167	110,432	34,624	9,946	351,026
前期比抑制電気使用量(kWh)	6,839	11,115	4,747	2,309	1,788	26,798
前期比電気使用量抑制率(%)	4.7%	16.3%	4.1%	6.3%	15.2%	7.1%

⑤前年(2022年度)比、電気料金の削減成果=燃料調整費、再エネ賦課金の削減、激変緩和措置により、電気料金は18%以上減少した。(但し、2021年度並みに戻った)

部門	HHdiv	IPlant	Odiv	SSdiv	国内計
2022年電気料金(円)	4,941,434	2,281,482	3,584,163	1,178,177	11,985,256
2023年電気料金(円)	4,149,285	1,637,410	3,138,937	888,994	9,814,626
電気料金抑制金額(円)	792,149	644,072	445,226	289,183	2,170,630
電気料金抑制率(%)	16.0%	28.2%	12.4%	24.5%	18.1%

⑥3R活動の成果(ダンボール除く)

部門	HHdiv	IPlant	Odiv	SSdiv	全社計
全体排出量(kg)	4,889	1,593	4,940	157	11,579
有価物分別量(kg)	1,154	373	730	0	2,257
有価物割合(%)	23.6%	23.4%	14.8%	0.0%	19.5%
有償換金(円)	53,356	300,125	13,780	0	367,261

⑦エコキャップ収集活動の成果

部門	HHdiv	IPlant	Odiv	全社計
収集量(Kg)	9.7	8.8	14.9	33.4
収集量(個数)	4171.0	3784.0	6407.0	14362.0
ワクチン:ポリオ(人分)	4.9	4.4	7.5	16.7
削減CO2(Kg)	30.6	27.7	46.9	105.2

⑧CO₂排出量の年度別推移全体排出量(t-CO₂)

電力+ガソリン	47期	48期	49期	50期	51期
HHdiv	90	83	86	77	73
IPlant	36	36	33	32	26
Odiv	60	53	58	60	57
SSdiv	18	17	19	17	15
全社排出量	204	189	196	186	171

6) ISO14001:外部審査と内部監査の結果

審査、監査の区別	外部審査	内部監査					
		国内4部門	HHdiv	IPlant	Odiv	SSdiv	SZE
対象部門	国内4部門						
監査期日	2023.10	202309	2023.09	2023.11	2024.01	2023.11	2024.02
監査結果(不適合/要観察 改善機会コメント/Good point)	0件/0件 17件/6件	0件/1件 1件/1件	0件/0件 0件/1件	0件/0件 1件/0件	0件/0件 2件/1件	0件/0件 0件/0件	0件/1件 2件/0件

7) 2024年度の主な取り組み事項

- 2024年度の環境マネジメントシステム(EMS)、及び環境活動では、管理業務の集中と選択を推進します。
- 賛同した“COOL CHOICE”や各種エコ活動を推進します。(スーパークールビズ活動、ウォームビズ活動の推進)
- 本社八王子地区における「モデル工場化」活動を継続し、より具体的な目標と施策、到達点を明確にし、その成果を他の事業所に有効に展開し、環境品質のパフォーマンス向上に取り組みます。
- 資源の枯渇に注目し、滞留資産の発生を抑制し、生産材の無駄な廃棄を監視・改善する活動を推進します。
- 環境管理費用の管理方法の調査、情報収集、および低減活動を継続的に推進します。
- 廃棄物の削減、再利用、リサイクル(3R)を促進し、廃棄物の分別を強化して有価化することで、廃棄物処理コストを削減します。
- 本期以降も外部審査は、ISO9001、ISO14001を同時に審査する統合審査を継続します。

以上